

公共施設に関するアンケート集計結果

平成29年3月

I 調査の概要

1 調査の目的

平成28年3月に策定した「行田市公共施設等総合管理計画」に基づき、今後具体的な施設再編の検討を行うにあたり、公共施設に関する市民の方のご意見を参考とするため、アンケート調査を実施する。

2 調査方法

- ① 調査対象地域 行田市全域
- ② 調査対象 市内に在住する18歳以上の市民（平成29年1月1日現在）
- ③ 調査人数 2,000人
- ④ 抽出方法 単純無作為抽出
- ⑤ 抽出台帳 住民基本台帳
- ⑥ 調査方法 郵送配布・郵便回収による郵送調査法
- ⑦ 調査時期 平成29年2月13日（月）～3月3日（金）

3 回答結果

回答数 746 （回答率 37.3%）

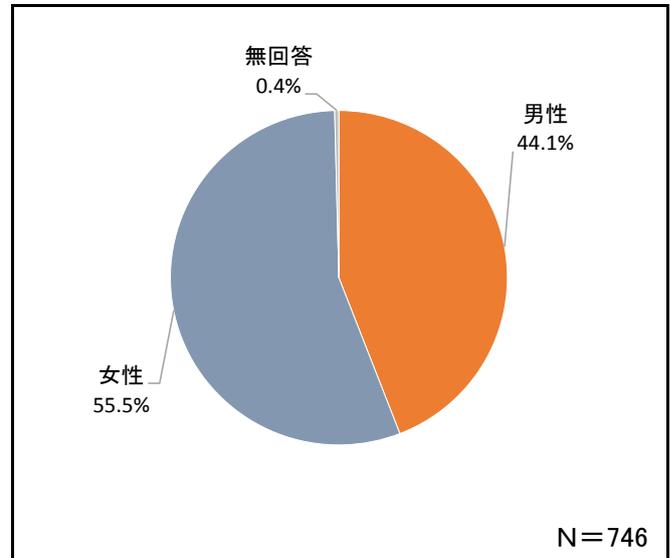
Ⅱ 回答者について

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

回答者のうち、男性が44.1%、女性が55.5%であった。

(図表 1) 性別回答者数

	内容	回答数	割合
1	男性	329	44.1%
2	女性	414	55.5%
3	無回答	3	0.4%
	合計	746	100.0%

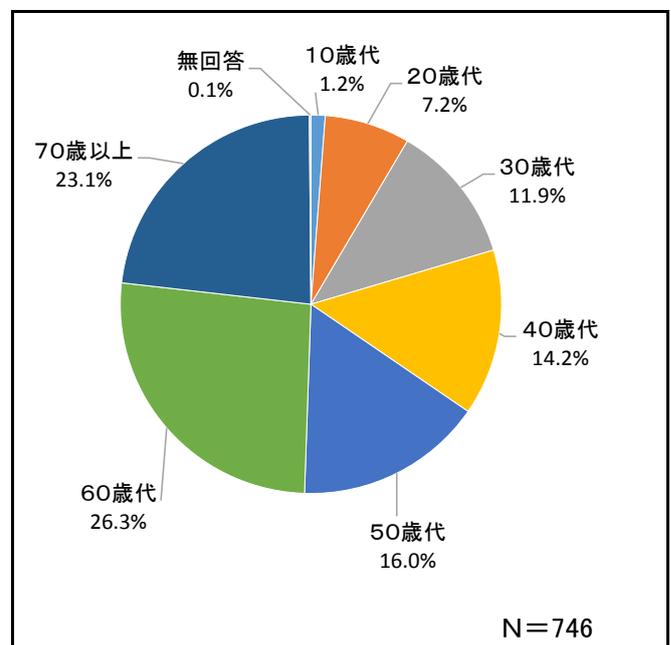


問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

回答者の年齢構成は、60歳以上の回答者が49.4%と全体の約半数を占めており、以下、年齢の高い順に50歳代が16.0%、40歳代が14.2%、30歳代が11.9%となっている。

(図表 2) 年齢別回答者数

	内容	回答数	割合
1	10歳代	9	1.2%
2	20歳代	54	7.2%
3	30歳代	89	11.9%
4	40歳代	106	14.2%
5	50歳代	119	16.0%
6	60歳代	196	26.3%
7	70歳以上	172	23.1%
8	無回答	1	0.1%
	合計	746	100.0%

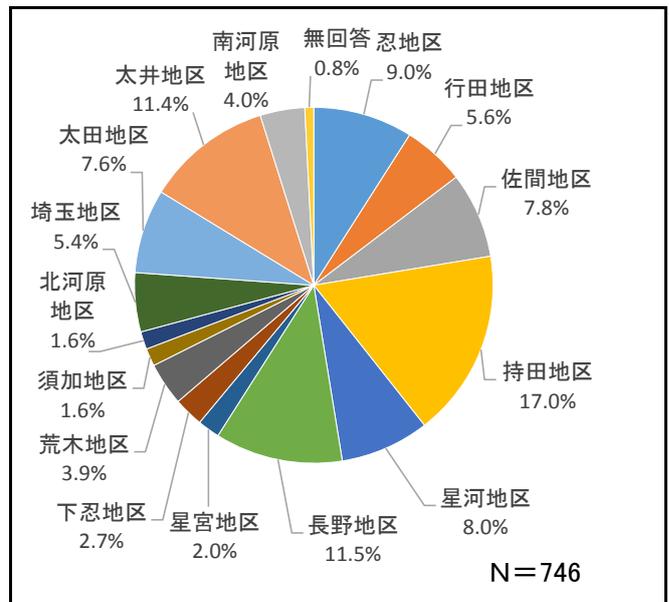


問3 あなたのお住まいの地区をお答えください。(〇は1つ)

回答者の地区構成は、持田地区が17.0%と一番多く、次いで長野地区の11.5%、太井地区の11.4%が続いている。各地区の人口構成比率と比較すると、各地区から概ね平均的に回答をいただいている。

(図表 3) 住民居住地区回答者数

	内容	回答数	割合
1	忍地区	67	9.0%
2	行田地区	42	5.6%
3	佐間地区	58	7.8%
4	持田地区	127	17.0%
5	星河地区	60	8.0%
6	長野地区	86	11.5%
7	星宮地区	15	2.0%
8	下忍地区	20	2.7%
9	荒木地区	29	3.9%
10	須加地区	12	1.6%
11	北河原地区	12	1.6%
12	埼玉地区	40	5.4%
13	太田地区	57	7.6%
14	太井地区	85	11.4%
15	南河原地区	30	4.0%
16	無回答	6	0.8%
	合計	746	100.0%

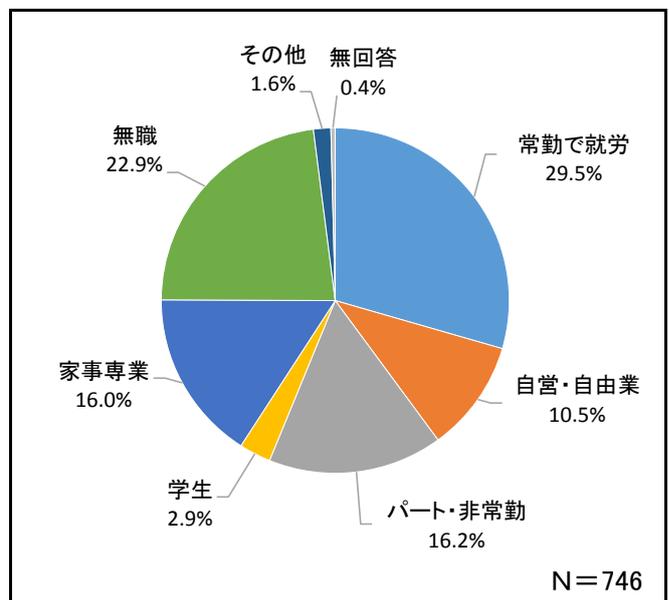


問4 あなたの就労形態をお答えください。(〇は1つ)

回答者の職業は、「常勤で就労」が29.5%と最も多く、次いで「無職」の22.9%、「パート・非常勤」の16.2%、「家事専業」の16.0%、「自営・自由業」の10.5%が続いている。

(図表 4) 就労形態回答者数

	内容	回答数	割合
1	常勤で就労	220	29.5%
2	自営・自由業	78	10.5%
3	パート・非常勤	121	16.2%
4	学生	22	2.9%
5	家事専業	119	16.0%
6	無職	171	22.9%
7	その他	12	1.6%
8	無回答	3	0.4%
	合計	746	100.0%

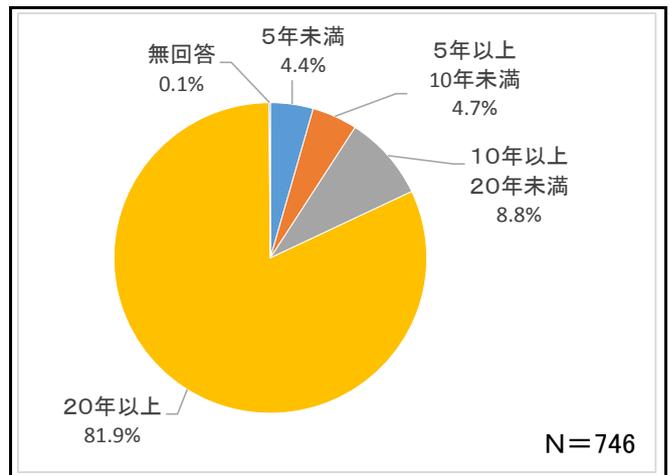


問5 あなたの行田市（旧南河原村を含む）での居住年数をお答えください。（○は1つ）

回答者の本市での居住年数は、「20年以上」の方が81.9%と全体の8割以上となっており、本市に長く居住している方が多いことがうかがえる。

（図表 5）居住年数回答者数

	内容	回答数	割合
1	5年未満	33	4.4%
2	5年以上10年未満	35	4.7%
3	10年以上20年未満	66	8.8%
4	20年以上	611	81.9%
5	無回答	1	0.1%
	合計	746	100.0%



Ⅲ 質問と単純集計結果について

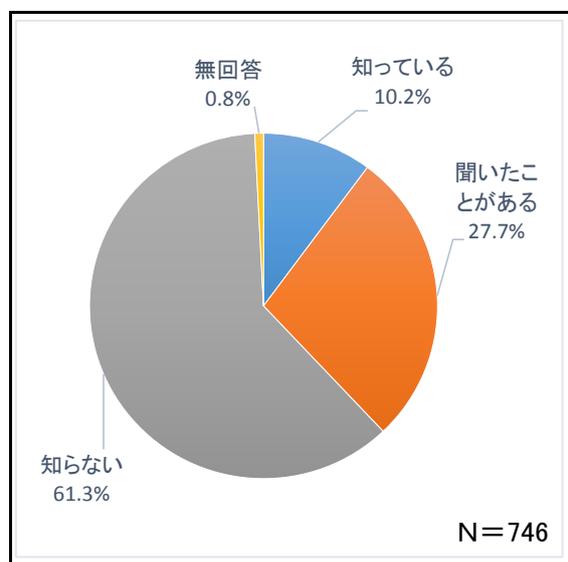
問6 高度経済成長や都市化の進展に伴い、昭和40年代～50年代に整備された公共施設が全国的に一齐に老朽化し、今後の維持管理や莫大な財政負担などが大きな社会問題になっています。

こうした状況の中、行田市では「公共施設等総合管理計画」（以下「計画」といいます。）を策定し、将来にわたって公共施設を適切に維持管理していく取り組みを進めていることをご存知ですか。（○は1つ）

取り組みの認知度については、「知らない」が61.3%と全体の6割以上であり、以下「聞いたことがある」が27.7%、「知っている」が10.2%と続き、策定した計画に関しては未だ認知度が低いことがうかがえる。

（図表 6）取り組みの認知度

	内容	回答数	割合
1	知っている	76	10.2%
2	聞いたことがある	207	27.7%
3	知らない	457	61.3%
4	無回答	6	0.8%
	合計	746	100.0%

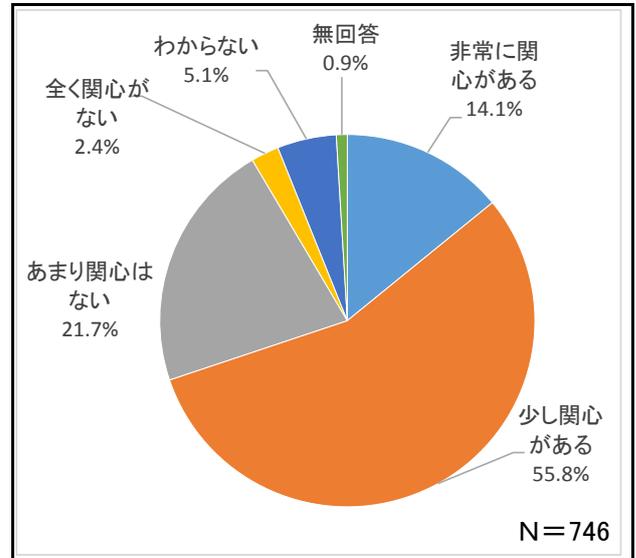


問7 行田市の公共施設の現状や課題について、どのくらい関心をお持ちですか。(○は1つ)

本市の公共施設の現状や課題に対する関心度については、「非常に関心がある」、「少し関心がある」を合計すると69.9%であり、全体の7割近い市民が公共施設の現状や課題に関心を寄せている。次いで「あまり関心はない」が21.7%、「わからない」が5.1%、「全く関心がない」が2.4%と続いている。

(図表 7) 本市の公共施設の現状や課題の関心度

	内容	回答数	割合
1	非常に関心がある	105	14.1%
2	少し関心がある	416	55.8%
3	あまり関心はない	162	21.7%
4	全く関心がない	18	2.4%
5	わからない	38	5.1%
6	無回答	7	0.9%
	合計	746	100.0%



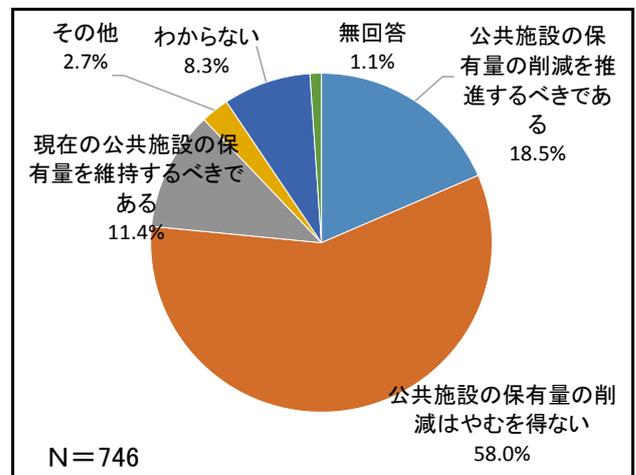
問8 「計画」では、公共施設の全体最適化を図り、安心・安全で市民ニーズに対応した持続可能な施設の提供を目指し、今後40年間で公共施設の保有量(延床面積)の27%削減を長期的な目標に掲げています。公共施設の保有量の削減について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(○は1つ)

本市の公共施設の保有量を削減することに対する考え方については、「公共施設の保有量の削減はやむを得ない」が58.0%と最も多く、次いで「公共施設の保有量の削減を推進するべきである」が18.5%、「現在の公共施設の保有量を維持するべきである」が11.4%、「わからない」が8.3%であった。

公共施設の保有量を削減することについては、全体の4分の3を超える76.5%の市民が一定の理解を示していることがうかがえる。

(図表 8) 公共施設の保有量の削減の考え

	内容	回答数	割合
1	公共施設の保有量の削減を推進するべきである	138	18.5%
2	公共施設の保有量の削減はやむを得ない	433	58.0%
3	現在の公共施設の保有量を維持するべきである	85	11.4%
4	その他	20	2.7%
5	わからない	62	8.3%
6	無回答	8	1.1%
	合計	746	100.0%

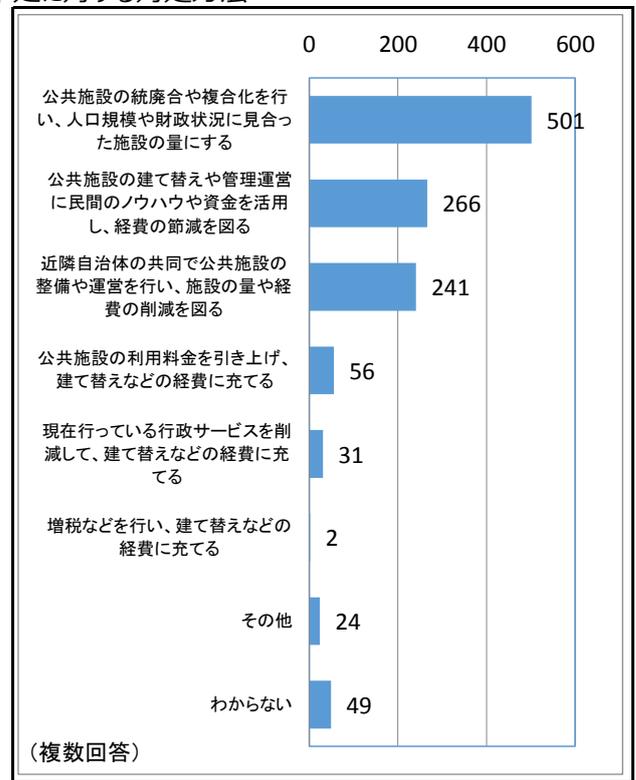


問9 「計画」では、行田市の公共施設の将来の更新等費用は、今後40年間で1,041億円もの多額の費用が必要になると試算しています。今後、公共施設の建て替えや維持管理に必要な財源が不足することが見込まれますが、どのように対処すべきと思いますか。(○は2つまで) * 複数回答のため回答数と回答人数は一致しない

今後の公共施設の建設や管理に伴う財源不足への対処方法については、「公共施設の統廃合や複合化を行う」が42.6%と最も多く、次いで「施設の建設や管理運営に民間を活用し、経費の節減を図る」が22.6%、「近隣自治体と共同で公共施設の整備や運営を行う」が20.5%となっている。一方、「公共施設の利用料金を引き上げる」が4.8%、「現在行っている行政サービスを削減する」が2.6%と少数意見となっている。

(図表 9) 今後の公共施設の建設や管理に伴う財源不足に対する対処方法

	内容	回答数	割合
1	公共施設の統廃合や複合化を行い、人口規模や財政状況に見合った施設の量にする	501	42.6%
2	公共施設の建て替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用し、経費の節減を図る	266	22.6%
3	近隣自治体と共同で公共施設の整備や運営を行い、施設の量や経費の節減を図る	241	20.5%
4	公共施設の利用料金を引き上げ、建て替えなどの経費に充てる	56	4.8%
5	現在行っている行政サービスを削減して、建て替えなどの経費に充てる	31	2.6%
6	増税などを行い、建て替えなどの経費に充てる	2	0.2%
7	その他	24	2.0%
8	わからない	49	4.2%
9	無回答	7	0.6%
合計		1177	100.0%



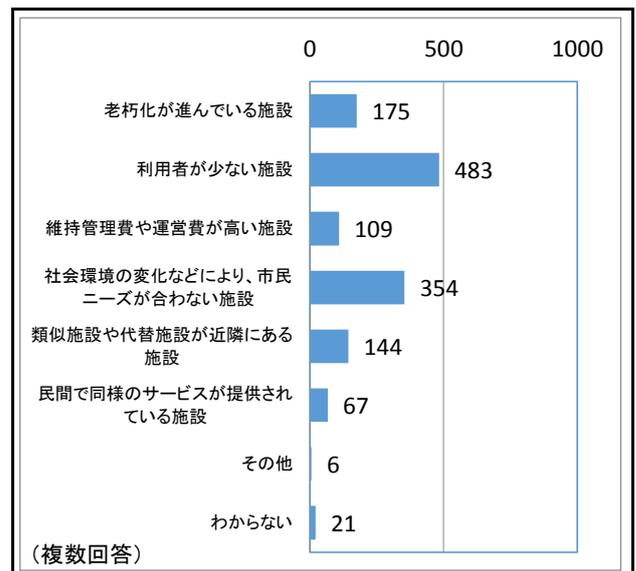
問10 仮に公共施設の数を減らしていかなければならなくなった場合、どのような施設から見直すべきと思いますか。

(○は2つまで) * 複数回答のため回答数と回答人数は一致しない

施設の見直し対象箇所については、「利用者が少ない施設」が35.4%と最も多く、次いで「社会環境の変化などにより、市民ニーズに合わない施設」が26.0%、「老朽化が進んでいる施設」が12.8%、「類似施設や代替施設が近隣にある施設」が10.6%となっている。

(図表 10) 施設の見直し対象箇所

	内容	回答数	割合
1	老朽化が進んでいる施設	175	12.8%
2	利用者が少ない施設	483	35.4%
3	維持管理費や運営費が高い施設	109	8.0%
4	社会環境の変化などにより、市民ニーズに合わない施設	354	26.0%
5	類似施設や代替施設が近隣にある施設	144	10.6%
6	民間で同様のサービスが提供されている施設	67	4.9%
7	その他	6	0.4%
8	わからない	21	1.5%
9	無回答	4	0.3%
合計		1363	100.0%



問 1 1 人口減少や少子高齢化が進展し、施設の利用ニーズが変化している中で、次に掲げる施設は、今後どうしていくべきと思いますか。あなたの考えに最も近い番号を1つ選んで、数字に○をつけてください。

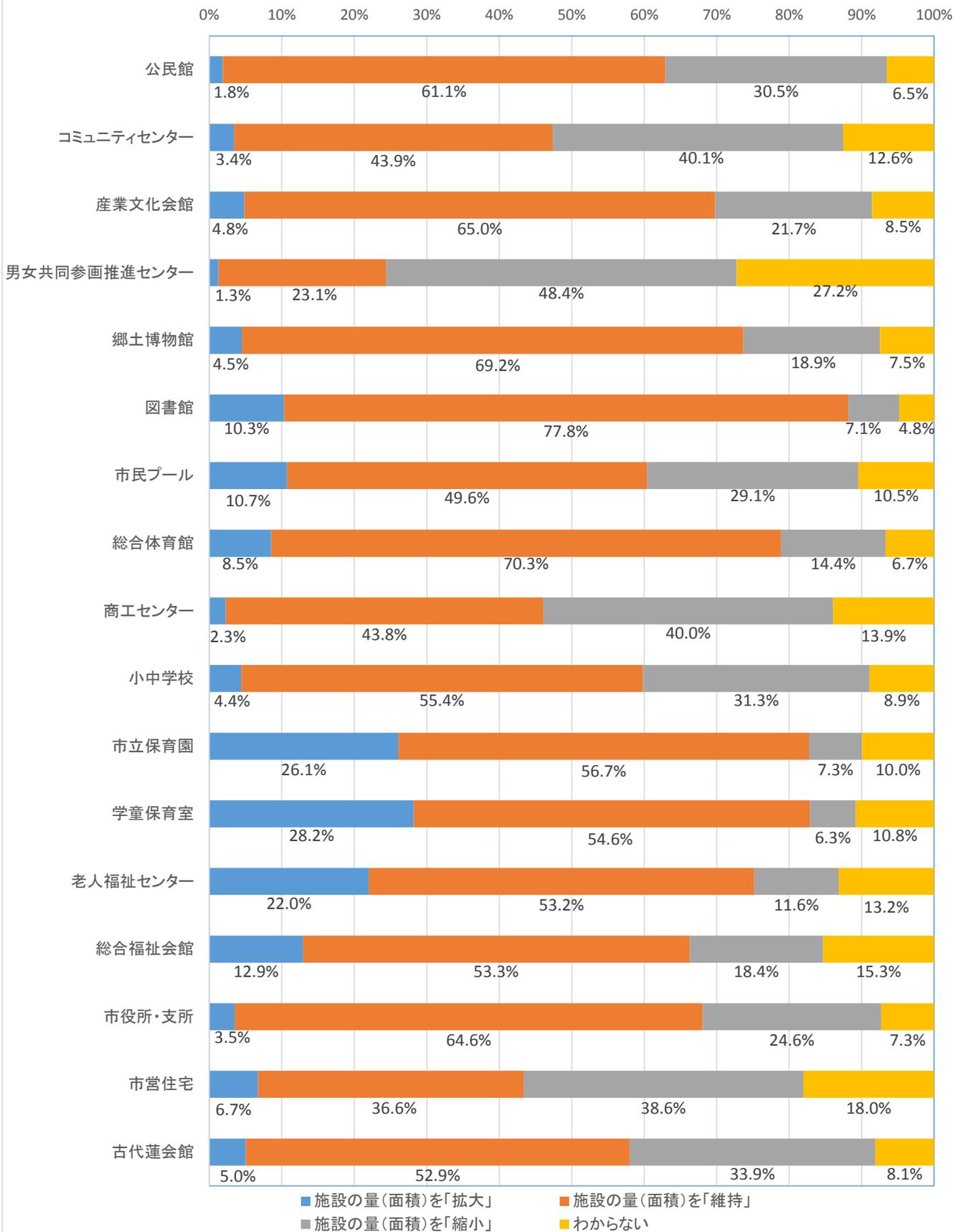
各施設の今後のあり方については、全体として現在の施設量を「維持」していくべきと考えている市民が多いことが伺えるが、その中でも、「維持」よりも「縮小」すべきと考えている市民が多かった施設は、「男女共同参画推進センター」と「市営住宅」であった。

一方で、「市立保育園」や「学童保育室」の「子育て支援施設」や、「老人福祉センター」や「総合福祉会館」の「保健・福祉施設」については、施設を「拡大」すべきと考えている市民が、他の施設に比べ多いことがうかがえる。

(表 1 1) 各施設の今後のあり方について

施設分類	施設名	施設の量 (面積)を 「拡大」		施設の量 (面積)を 「維持」		施設の量 (面積)を 「縮小」		わからない	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
市民文化系施設	公民館	13	1.8%	430	61.1%	215	30.5%	46	6.5%
	コミュニティセンター	24	3.4%	308	43.9%	281	40.1%	88	12.6%
	産業文化会館	34	4.8%	456	65.0%	152	21.7%	60	8.5%
	男女共同参画推進センター	9	1.3%	162	23.1%	339	48.4%	191	27.2%
社会教育系施設	郷土博物館	32	4.5%	491	69.2%	134	18.9%	53	7.5%
	図書館	73	10.3%	550	77.8%	50	7.1%	34	4.8%
スポーツ・レクリエーション系施設	市民プール	76	10.7%	351	49.6%	206	29.1%	74	10.5%
	総合体育館	61	8.5%	503	70.3%	103	14.4%	48	6.7%
産業系施設	商工センター	16	2.3%	308	43.8%	281	40.0%	98	13.9%
学校教育系施設	小中学校	31	4.4%	392	55.4%	221	31.3%	63	8.9%
子育て支援施設	市立保育園	186	26.1%	404	56.7%	52	7.3%	71	10.0%
	学童保育室	201	28.2%	389	54.6%	45	6.3%	77	10.8%
保健・福祉施設	老人福祉センター	157	22.0%	379	53.2%	83	11.6%	94	13.2%
	総合福祉会館	92	12.9%	379	53.3%	131	18.4%	109	15.3%
行政系施設	市役所・支所	25	3.5%	459	64.6%	175	24.6%	52	7.3%
公営住宅	市営住宅	48	6.7%	262	36.6%	276	38.6%	129	18.0%
公園	古代蓮会館	36	5.0%	378	52.9%	242	33.9%	58	8.1%

各施設の今後のあり方について

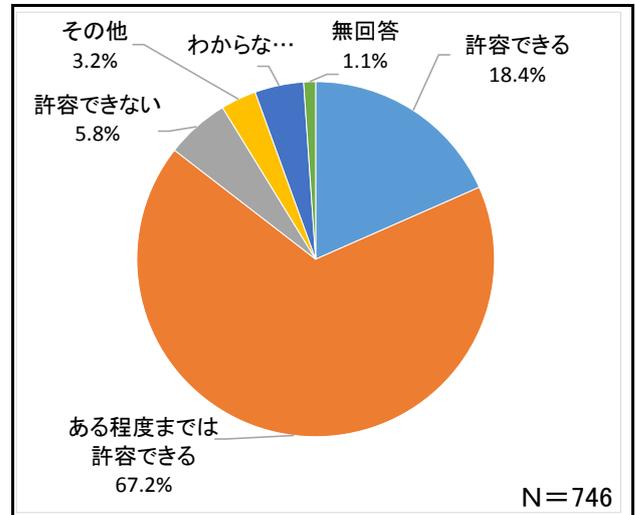


問 1 2 公共施設の再編成を進めた場合、身近で利用してきた施設が遠くなるなど、利用しづらくなる場合もあると考えられます。このことについてどのように思いますか。（○は1つ）

公共施設の再編成を進めることに対する理解度については、「ある程度までは許容できる」が最も多く67.2%、次いで「許容できる」が18.4%、「許容できない」が5.8%と続いている。
 公共施設の再編成は許容できないという意見が一部にはあるものの、今後の施設の再編成を行うことについて、一定水準までならば許容できると考えている市民は、全体の85%を超える結果となっている。

（図表 1 2）再編成を進めた場合の考え方

	内容	回答数	割合
1	許容できる	137	18.4%
2	ある程度までは許容できる	501	67.2%
3	許容できない	43	5.8%
4	その他	24	3.2%
5	わからない	33	4.4%
6	無回答	8	1.1%
	合計	746	100.0%



問 1 3 公共施設の今後のあり方についてご意見等ございましたら、ご自由にご記入ください。
 (いただいた主なご意見は次のとおりです)

NO.	意見
1	これまで公共施設は市の豊かさの指標と捉え拡大してきたが、今後は市民にとって真に必要なかどうか検討すべき。
2	利用者が少数だから施設がいらぬのではなく、統合して充実していくべき。
3	施設を利用したことがありません。より良い対応をお願いします。
4	施設の量を積極的に減らすべき。
5	利用者の少ない施設は減らすべき。
6	施設そのものは縮小しつつ、運用面での工夫をすべき。
7	財政問題から、全般施設の縮小、赤字になれば税金が増える。余分なものは省くべき。施設については現状を基にして人口減少に併せ縮小し、不便のない市政を願う。
8	あまり使われない施設は縮小すべき。
9	利用する目的がそれぞれ異なるが、今市内に点在している施設を、将来的には多くの機能を備える建物を造ることで、維持管理費を少しでも少なく出来る方法を考えてほしい。貸し出し自転車（JR行田駅）を使用し、自宅へ持ち帰っている方を見たことがあり、このサービスは不要と思えた。
10	今までも施設の「必要」、「不必要」の問題があり、「不必要」という結論が出て廃止していない施設はある。今それが高齢化社会の問題で解決していかなければならない状況になっているため、市役所の皆さんの知恵で解決してほしい。
11	無駄が多い。利用者が少ないのに無理して維持していく必要ない。人件費の削減にもなる。

NO.	意見
12	子どもの数に対して子育て支援センターが多い気がする。近くにあるのは嬉しいことだが、行田市は妊婦検診助成金が少ないと思う。産まれた後の子も大切だが、まず産む前の事も考えてほしい。
13	利用者が少ない施設は見直しが必要。学童保育や保育園などに充てる。
14	時代のニーズに合っていない施設は見直しが必要と思われます。経年により老朽化した施設の建て替えや、新規の施設も必要となるため「公共施設等総合管理計画」に基づき早急に全庁的な取り組みを行い、実行に移す必要があると思われます。
15	利用数の少ない建物、存在を認める施設であっても費用がかかる施設等は極力減らしていくべき。ただし子どもの成長に関する施設はカットすべきではない。
16	公共施設の数が全般的に多いと思っている。数を少なくして質の高いものとする。民間で同様な施設があつたら廃止する。
17	公共施設は必要最小限にして、積極的に統廃合を進めるべき。
18	行田市は財政的に赤字なのだから、施設は半分にするくらいの計画でないと解消にはならないと思う。市役所の職員だけでなくボランティアの方を入れるなど、人件費の削減の検討すること。
19	市民が公共施設を利用しなければ意味がない。平日、土、日、祝日と利用度に応じて統廃合する。また施設を市街地に持っていき、市役所やJR行田駅の周辺にコンパクトな公共施設の設置を行うべき。人口減少社会なので利用者も当然減少します。施設の維持費も大きいと考えられます。健全な市政運営、管理を期待します。
20	不用なものに関しては維持する必要もないと思う。産業文化会館、グリーンアリーナなど老朽化が進んでいても、メンテナンスして維持することが望ましいと考える。忍城や古代蓮の里、観光客が訪れるところは名所として残す必要があると思う。また公民館等は各自治会からの自治会費の一部を充てるなどすると良いと考える。
21	施設はコンパクト、機能的になってほしい。
22	必要であれば、利用料の値上げを行う。それに伴い利用者数が減るのであれば、取り壊しや統廃合を行っても良いと思う。
23	利用の少ない施設はなくしたほうが良い。古代蓮会館は古く、周りが田んぼばかりで魅力が無い。須加小学校は母校なので残して欲しい。

NO.	意見
24	公共施設の統廃合の一部として、大型商業施設等を受け入れ、複合化されたビルを設置すること。また高齢化に伴い市内循環バスを増設することが大切である。
25	統合できるものは統合して、行田市には大型ショッピングセンターがないので、市民が他市で買い物をしなくてよい状況、また他市から買い物客を取り込める状況となるよう、設置した方が良い。若い夫婦がこの市に移住したいと思えるような子育て支援を充実させ、人口の増加に繋がるような未来を考えてほしい。
26	税込減が予想される今後、公共施設の維持修繕等は必要最小限にするべき。利用が少ない施設は統廃合して効率よく。
27	私個人としては、日ごろ習い事をしている関係で、公共施設は様々な場所を使わせてもらっている。今後の縮小はさびしいが、人口減少等の理由であれば、仕方がない気がする。これからの私達の余暇を楽しむ場所は、気軽に活用できる施設であってほしい。
28	40年間で約27%の削減目標に対して、アンケートにあるように人口や財政に見合った公共施設の統廃合や複合化、施設の複合化や近隣自治体との施設の共同整備や運営もひとつの対策と思われる。学校教育施設や公営住宅の規模が大きいのので削減を検討する余地があると思います。ただし公共施設は災害時の重要拠点であるため緊急時拠点施設としての整備も考慮しておく必要があります。
29	一部の人しか利用されていない施設は、避難場所の位置づけがない場合、廃止するか利用料金を徴収すべき。
30	すべての公共施設を見直し、無理、無駄、ムラ（コスト）を無くしてほしい。固定費（人件費）を見直してほしい。民間を活用してほしい。
31	取り壊すにもお金がかかると思うが、必要ない施設を維持する必要もないと考えます。私は北河原地区に住んでいて子どもがまだ小さいですが、今から小学校がどうなるのか不安です。廃止した施設の有効利用について、ある県では廃校となった学校跡地を道の駅にして活用していると聞きました。良いところは真似をして、行田市を盛り上げてほしい。
32	総合福祉会館に公民館の機能を持たせるなど、分野を超えた統合が必要なのではないかと思う。
33	児童福祉に携わる者である。少子化に歯止めがかからず、人口減少の一途、民間の保育所、幼稚園もこのことを憂慮し、将来的には法人の統合も考えている状態であるので、公共施設の統合、縮小はやむを得ないと思う。国、自治体全体で少子化による予測を国民に呼びかけていかないと意識（公共福祉のあり方が変化、身構えが）できず混乱していくのではないかと。少子化になる危機感をわかってもらわないといけない状況だと思う。
34	高齢社会に向けて大胆な公共施設の縮小を要望致します。
35	人口は減少するが、高齢者の割合が多くなるので、医療・介護施設等に税金を使って欲しい。公共施設を縮小して、市民が本当に使用できる施設だけを維持して欲しい。税金は高くしないで欲しい。

NO.	意見
36	各地区に拠点施設を設定し、そこに公民館や小学校などを集約し、その他の施設は売却する。
37	利用者の少ないものから縮小していいと思う。
38	少子高齢化が進む状況なので、公共施設等の見直しはやむを得ないと思います。市役所業務も電子化の推進により無駄を減らすことを期待します。
39	市の人口や税収を考慮しながら、フレキシブルに対応すべし。
40	今後40年間で行田市内の公共施設の保有量を27%削減するには、利用者が少ない施設や類似施設及び重複するような施設が近隣にある場合は削減を検討したらよいと思う。
41	今までの施設を維持していけばよいのではないのでしょうか。
42	ただ削減ありきで進めることに疑問を感じる。人口の減少を防ぎ魅力ある町にしていくためには、何か特徴のある施設を加えたらよいのではないか。例えば他市よりも英語教育が進んでいるのだから、それをアピールするような国際交流用の施設や外国人が日本語を学べる施設など。高校も進学校と呼べるものができることを期待したい。
43	補修を繰り返して長期保存するよう心掛けることを希望。古い町にふさわしい古い施設でいいと思う。改装で立派になるものも沢山あるが、磨きぬかれた古い施設を活用すべき。
44	公共施設の保有量の削減は必要だと思うが、利用者がいるのであれば安易に行うべきではないと思う。
45	熊谷市との合併が遠くない将来であるとうわさされる中、この際破産しない程度に借入れを行い、公共施設の整備、建て替えを行い、市民に喜んでもらえるよう計画を立てて実行してほしい。
46	利用料金が安く済むことは助かる。公共施設は「ないと不満、あるとまあまあ便利」くらいだが無くなると街の活気も無くなるので、できる範囲で現状維持を望む。
47	全体的に考え、必要なものは拡充して良いと思う。行田をもっと宣伝すべき。

NO.	意見
48	公共施設はいつでも市民が利用しやすいように身近にあってほしい。
49	利用者の目的が達成できるなら、施設の大きさは関係ないのだから、施設を廃止するのではなく、減築を行えば良い。
50	知らない施設が多すぎるので、市民に告知をすべき。祭りに関しても素晴らしい文化があるのに他の市町村の方に知られていない。商工会だけでなく市として協力して欲しい。
51	各自治体の公民館で行われている講座を、その地区の方達だけでなく、誰でも参加できるように情報を共有して欲しい。市民プールの建物があまりにも古いので新しい施設を考えて欲しい。
52	普段あまり気にかけてこなかった問題だが、重要な事項であることを知らされた。市民に対するPRがもっと必要だと思う。
53	公共サービスにおいては具体的にどのようなサービスがあるか良く分からないので、分かるようにして欲しい。
54	どんな施設がどこに有るのか知らない市民が多いのではないかと。公共施設（図書館や市民プール、総合体育館など）は各地に分散しているが、これは各地域へのサービスのつもりで、公平に配置したつもりかもしれないが、利便性という観点からまったくずれている。今更どうしようもないと思うが、バラムキは公平とは違う。総合福祉会館「やすらぎの里」など良い例だと思うが、遠いので行かない。市内循環バスが遠路はるばる運行しているが、利用者はほとんどいない。
55	毎年公共施設の利用状況や、利用頻度の情報を公開し、関心を持ってもらうようにしたら良いと思う。
56	全校生徒の少ない小学校は統合すべき。スクールバスもやむを得ない。
57	見沼中、星宮小などの児童数の少ない学校の統廃合をするべき。
58	小学校が1クラスしかないところもあるので、合併したほうが良いと思う。他自治体では、人口増加に伴い作られた小学校も、ゆくゆくは老人施設として利用する前提で作られたと聞いている。行田に引越してきて10年になるが、確かここの施設も古さを感じる。人口増加も見込めない、財政も厳しいとなれば、多少利用しにくくなっても統合や、削減は仕方がないことと思う。
59	子どもの教育環境はとても大切だと思うので、子どもたちが利用する市民プールなどは、閉鎖することの無いよう、是非維持して欲しい。また小学校については、少人数過ぎると競争心も育たないと思うので、過度に少ない星宮小学校や須加小学校、北河原小学校などは、統合しても良いと思う。

NO.	意見
60	少人数の学校については、分校扱いして通学バスを導入し、学校の維持費削減をすればよい。埼玉古墳群の世界遺産登録は本当に実現すると考えているのか。本当に考えているのなら現実がわかっていない。お役所仕事としかいえない。古代蓮のわらアートに対して、300万円の予算をかけていることは、何を考えているのか。もう少し市民の税金を有効活用してほしい。公園についても規模が中途半端で遊びづらいため、市街地でなくて良いので、大きな公園を建設して欲しい。もう少し近隣市を見た方がいいと思う。商工センターは暗すぎる。
61	小中学校の施設量の縮小は、学校施設の「規模」の縮小ではなく、「数」を縮小（集約）しなければならないと思う。比較的、建物の規模が大きいのが、通っている生徒達に対してのランニングコストが多い様に思われる。中心部の学校も空き教室が多くなりつつあるので、数を減らし、集約した学校施設は、今以上に充実したものにしていければ良いと思う。
62	小中学校に関しては今後の人口の推移予測（市内地域ごとに増減に差があると思うが）を基に慎重に行うべき。緊急避難場所となる場合もあるので。スポーツ、レクリエーションに関しては民間で同様の施設等がある場合は縮小の方向が良いと思う。
63	学校の統廃合については、通う子ども、通わせる親の不安を少しでも取り除ければよい方向に行くと思う。また市民に安心して仕事をしてもらうなら、保育園や学童保育の充実を図ってほしい。また民間のアイデアも取り入れたほうが良いと思う。
64	小学校の数が子どもの割合に合っていないので積極的に統廃合すべき。郷土博物館は面白いのもっと展示など増やしても良いのでは。図書館を利用したくても、バスなどのアクセスが良くない。
65	時代によりニーズが変わっていくので市民にアンケート等の聞き取りを行い、市政の運営をして欲しい。
66	人口減少のため公共施設のあり方を考える。老人が多くなる状況を考慮して公共施設の利用方法を検討すべき。
67	今後高齢者が増えるため老人ホームや高齢者向けの施設を増やすべき。また公共施設を拡大する際は、民間やNPO法人などと協働していくことが望ましい。
68	子育て世帯に住みたいまちと思わせる行田市にしてほしい。高齢化も進んでいるので施設を増やしてほしい。住みやすい町にしてほしい。
69	市民のニーズにあった公共施設の量と質の充実を望む。
70	若者（20～30代）の意見を深く聞いて欲しい。
71	子ども、老人に関する施設は充実を図って欲しい。若い方が住みよい環境にするために子どもの施設は拡充が必要である。老人が外出できるようにコミュニティーバスのルートの細密化、増発を行うべきである。

NO.	意見
72	高齢化が進むと施設が遠くなり、市内の交通機関も限られ外出が困難となる。年寄りでも楽しめる行田に。施設を利用する若者が少ないようなので、若い人が利用できる施設にして欲しい。
73	高齢化に応じた施設の拡大を願う。
74	高齢化社会に必要な施設、少子化になっても必要な施設、逆に不要な施設は何か、市民が納得できるレベルまで掘り下げた上で廃止されることを望む。
75	もっと行田市民が利用しやすい集まりやすい施設を作る。例えばスポーツジム、ランニングコース、野球場、テニスコートはしっかりしているが、サッカーをする場所が無い。芝にするなどして、サッカーやグラウンドゴルフが出来るようにして欲しい。夜もランニング、ウォーキングが可能となるように、照明の数を増やして欲しい。
76	各施設の利用度により検討が必要。
77	利用価値のある施設は拡大して欲しい。
78	学校の図書館など、未来を作る人達の活用が主となる施設は、最大限に現状を維持すべき。
79	必要性や効果が不明と思われる市有地に、突然出来た観光案内所はどうだろうか。誰もが「いらない」というようなものが何故建築されたのか。当事者の猛省を促したい。これをもって公共施設の使用料の値上げの口実にするのか。各施設ともどの様な需要があり、どんな利用のされ方をしているのか、調べて適切なサービスを行うよう努めていただきたい。
80	何かひとつでも強みのある運営をしてほしい。年齢層やニーズに合った判断がとても大切だと考える。
81	規模を縮小すべき部分、拡大すべき部分をよく調査し、実行してほしい。
82	市民が利用しやすい施設にすること。何のための施設か目的を明確にすること。
83	市民活動サポートセンター（コミュニティセンター）の利用者数はどのくらいか。施設の設置場所と配置人数の検討が必要である。

NO.	意見
84	公共施設の数は減らすべきと思うが、1つ1つの施設の質の向上を充実させ、利用者を増やすことの出来る施設は拡大すべきである。
85	市民のニーズを優先することが重要であり、「削減・廃止するのほどこか」という視点ではなく、「市民が必要としている（実際に使用している）のほどこか」という視点で考えるべきだと思う。子育てがしやすい市を目指すのであれば、保育施設や教育機関を充実させるべきであり、どのような市であってほしいか、市民の意見を把握した上での開発を望む。
86	大規模な事業計画なので、市民に向けての説明や契約内容を明確にして、国立競技場や東京オリンピックのように見積りの甘さなどで、市民に負担がかからないようにクリアな行田であってほしい。
87	市民生活に直結する施設を設けるようにしてほしい。例えば、旧土地台帳付属地図と地籍測量図との違いがありすぎで測量を行う専門部署を設けるとかしてほしい。
88	高齢化に対応した施設運営をして欲しい。
89	公共施設については、これからの社会での役割が大きくなると考えられるので、必要なものは必要と考え、何が大切か考えるべき。一般論で片付ける時代ではなく、市職員が考えることが大切である。
90	公共施設のあり方については、地方自治の重要な課題であり、常に市民と考えて方針を共有すべきだと思う。
91	箱物の新設は、維持管理費もかかるので十分な議論を願う。利用されていない廃止する施設については、速やかな撤去を願う。出来れば期限を設けること。
92	今後少子高齢社会に突入するにあたり、複合施設にしてお金をかけない方法も検討した方がいい。
93	「みらい」のように屋根をカーブさせるなどの建築は、維持費、修理費などが大幅にかかるので、このような設計はやめてほしい。プレハブのようなシンプルな建物で金をかけないでほしい。
94	少子高齢化が進む中、これから（30年～50年）を見据えた公共施設の有り方を想像して、将来を考えた施設を作ってほしい。
95	公共施設が少なくなれば人口減少が進んでしまうかもしれないが、維持費のために借金をしたり税金をあげたりすると、施設が良くなってもそこに住んでる人にとっては苦しいだけである。

NO.	意見
96	公共施設もだが、他の無駄な経費の削減にも取り組んでいただきたい。
97	節減を第一に考えるべき。
98	維持管理費及び運営費の高い施設や、利用者の少ない施設を廃止すべき。
99	公共施設の建設の維持管理には税金が使われていることを考えて、市民の為になることを第一に、また子ども達のために負の財産を残さないように長期的展望に立って議論することが必要であると考える。モノも必要ですが、ヒトを育てることも仕事ではないか。
100	各公共施設の利用状況など、市民に分かりやすく数字で伝えることが必要である。各団体の代表者を通じて、市の財政について市民に知らせ、できる範囲のことはボランティア等で協力してもらうなど、経費の削減が必要である。
101	公共施設を減少させるのは無理で、今後も新築と修繕を繰り返すのであろうが、建物の建設はランニングコストを十分に見込み、慎重に行うべきであるし、修繕は十分に行うこと。
102	今後財源が不足していくことを考えると、今ある建物を使い新築はしないで欲しい。
103	行田市は平成の大合併をした時の人口をすでに割り込んでいる状況で、新聞等で将来消滅市町村にもあげられてしまっている。施設を削減すると人口減少など課題が残りますが、施設の維持管理費などの費用がかからないよう統廃合の取組を願う。（人口の社会増、自然増を如何にするか取組みを期待します）
104	各小学校の数に対して公民館が設置されているのは多すぎであり、見直すべきである。生涯学習については各施設等の講座を見直すべき、経費削減になる。公共施設を利用している人達の本当の生きがいを手助けできることが大事である。
105	市内の公民館を時々利用しているが、民間施設であればすぐに廃業あるいは倒産ではないかと思われるくらいに利用者が少ない。出来るだけ公共施設を近くに集めて駐車場の有効活用を考え、公共施設における市民の賑わいを図ることが必要ではないか。
106	人口減少によって使用する施設も変化するが、近隣の市町村と共用することが可能な施設については、思い切って改革したらどうか。
107	グローバル化の時代に市・町の境にこだわるのはナンセンスであるので、近隣市町村と施設を統合すべきところは統合し、経費削減、機能充実を図るべき。

NO.	意見
108	施設の維持更新費の軽減、施設稼働率の向上、民間活動力の導入や施設総量の最適化など、あらゆる取り組みを検討することが大切。行田市の歴史と文化を主体とした芸術文化を質の高いものにするために、施設のあり方について市民に対して周知を図りながら、近隣の市町村や民間施設と連携し、ソーシャルワークを作り出してほしい。人口減少に対応できる積極的な取組を願う。
109	民間のノウハウを最大限に活用することが望ましい。近隣自治体とも協力し、統廃合を積極的に進める。近隣他県からの観光、インバウンド観光に対応した整備を行い、魅力あるまちづくりを推進すべき。
110	公共施設については、駅前を開発して設置するようにすべき。行田は駅前の開発が遅れている。吹上や鴻巣駅を見習ってほしい。バスも公共施設に止まるバスを頻繁に出すと良いと思う。
111	市で管理すべきもの、民間に管理できるものの仕分けを行うべきである。また若い人の意見を取り入れて、住みよいまちを作って欲しい。
113	市内循環バスで行けるところに必要な施設をコンパクトにまとめて欲しい。
114	産業文化会館・みらい等の施設は、収容人数と駐車場の広さや、市民が集まりやすい市内中心地に作るべきである。公営住宅で空き家の多いところは縮小すべきである。
115	コンパクトシティ化の推進と維持管理費や運営費が高い施設の見直しを行うべきである。統廃合等により利用してきた施設が遠くなるのは仕方がないと思っている。
116	車を使用しないと施設の利用ができない。元気な人には良くて身体が不自由な方や弱い方に優しくないと思う。
117	高齢になって運転が出来なくなった時に、バスで遠くまで行ければよいのですが。
118	公共施設のある場所にそれぞれ止められると良い。バスに乗っても遠回りするので行きたいところに遅れてしまう。
119	公共施設の再編成を進めた場合、身近で利用した施設が遠くなってしまうことが最も不安になるところである。利用者が少なくならないよう、施設間の交通手段を十分に考えて欲しい。
120	行田市は交通の便が悪すぎる。

NO.	意見
121	市内循環バスについてもっと細かく廻れると良いと思う。
122	市内循環バスを増やして、秩父線沿線にバスを出してほしい。
123	高齢化に伴い、老人の移動手段がないと、さまざまな公共施設を利用しづらくなり、いきいきと生活することができなくなると思う。市内循環バスを市内全域に増便し、老人が心豊かに暮らせるような行田市であってほしいと思う。
124	やすらぎの里は遠すぎて、利用したくても利用できない。週に1, 2回JR行田駅から直通バスが出たら、利用者の範囲も広がると思う。
125	持田から図書館へ行くのが大変なので、バスの便とか何か方法を考えていただきたい。
126	高齢者施設の充実、高齢者施設への交通サービス（バスなど）
127	市役所の職員の給料を減らすとともに、少子高齢化に向けて福祉施設を増やし、介護職の給料をあげるにより介護待機者を減らす。
128	建てる時には50年先を見ずえて建てる必要があると思う。市議会議員の方達の給与が高くないですか？市役所の人達の給料等削減できないでしょうか？
129	財政の見直し、公務員の削減、何がムダなのか考えるべきである。このアンケートが役所の自己満足にならないことを祈る。
130	公共施設の維持管理にボランティアの人を募集する。
131	小中学校の空き教室の再利用を考えてほしい。空き教室利用し講座を開設して公民館のスペースを縮小してはどうでしょうか。市役所、支所については建て直し、シルバー人材センターや商工センター等もその中に入れてほしい。
132	小中学校の空き教室を利用したらいいと思う。公園をもっと増やしてほしい。

NO.	意見
133	空店舗などをうまく利用して支援施設を増やしたり、市役所の職員を最低人数にして手の空いている方に福祉の仕事させるなど、少人数で最大限の仕事が行えるといい。新しく建てるのではなくよく考えること。JR行田駅を何とかしてほしい。待ち合わせが出来る場所がない、そんなところは行田だけ。JR行田駅行きのバスを増やしてほしい。
134	老朽化した公共施設については利用者に人数を確認し検討した上でリノベーション、コンバージョンを行うと、市を盛り上げることが出来るかもしれない。
135	縮小した学校や施設の一部を高齢者の健康寿命を延ばすような取り組みを行う場所に提供し、楽しく通える憩いの場があるといいと思う。
136	民間に施設運営の一部を委託する。
137	魅力あるまちづくりも大切。行田に住んでよかったと思えるように、率先して考えていただきたい。そのために民間の力を借りて、より良い行田にして欲しい。
138	施設等の維持管理運営に民間の力を導入すれば良いと思う。施設の統廃合は新たに一つの大きな施設にまとめてしまうのもよい考えである。
139	図書館の場所が遠いため行く気にならない。
140	古代運タワーのエレベーターの稼働時間を午後6時くらいまで延長して欲しい。
141	コミュニティセンターが無料で部屋を貸してくれたことがあり、大変助かった。行田に引っ越して来たとき市民プールに温水プールがあり、高い月謝を納めなくても安心して子どもが練習ができて、大変嬉しかった思い出がある。
142	総合福祉会館を利用している。近いから行くことができるが、遠かったら今ほど行けないと思う。
143	総合公園プールの再開を願う。
144	図書館を増やして欲しい。現在の場所は非常に使いにくい。駅前に公共施設を作るべき。アンケートをとるのはいいが、市政に活かされているのか。前回のアンケートはどうなったのか。

NO.	意見
145	持田地区には公共施設がないので、道の駅とかお風呂とか皆が楽しく集まる場所を作ってもらいたい。
146	現在コミュニティセンターや公民館等を利用している。冷暖房完備で広くゆったり使えるので助かっている。あまり利用されていないようなのもったいないと思う。高齢化が進むと、更に皆で集まる場所が必要である。また遠くでは出かけにくくなる。
147	3ヶ月前に引越して来ましたが図書館がとても綺麗でびっくりした。駐車場も整備されていて残してほしい施設である。
148	大人も子どもも楽しめる大きな公園を作ってもらいたい。
149	やすらぎの里は人里離れたところにあり、遠くに行くことが出来ない。一部の人しか利用していないのはいかがなものか。市内中心地の交通の便の良いところにつくらなければ意味がない。
150	中央公民館、VIVAぎょうだは夜間利用者が少ないため、どちらか一ヶ所は閉館させるようにしたら良い。
151	図書館は、小部屋を除き天井が高くお金がかかっていそうに見える。古代蓮会館については、蓮の花が咲く頃にどれくらいの人出があるのか、またそれ以外の有効活用はできているのか。忍城、古墳公園、郷土博物館などの土産物がぱっとしない。学校については、休日に使用していない教室を開放すること。公共施設にレストラン、コンビニエンスストア、フライ屋、書店など民間企業を入れて活用してみてもどうか。
152	公共施設の中でも子育て支援施設の保育園については、待機児童を少しでも減らせるように増設するなど子育てに対する支援を広めて頂きたい。
153	子どもたちが外で遊べるアスレチックの様な施設があれば、子どもの運動能力低下やコミュニケーション不足の改善が見込めると思うので作るべき。
154	学童保育室などを増設して欲しい。市民プールを修理して子ども達が利用できるようにして欲しい。国道17号の通行音がうるさいので、防音壁を作って欲しい。
155	幼児と小学生の子どもがいます。あおいが利用できなくなってしまって残念です。児童館に年齢関係なく遊べるものが増えてほしいです。
156	南河原庁舎は明らかに無駄と思える。少子化といえども子どもや青少年の夢を育むスポーツ施設は減少してはならない。議会だよりで道の駅が論議されていますがぜひ実現して欲しいです。

NO.	意見
157	持田地区を含め、JR行田駅方面に公共施設が少なく、災害にあった場合も踏まえて、持田公民館や太井公民館の拡大などを考えて欲しい。また総合福祉会館は、市街地から遠く肝心な利用者が行きにくいと思う。設備がすばらしいのに勿体無いと思う。
158	子育て支援センター（きっずプラザあおい）の駐車場を作るべきです。
159	高齢者の施設を充実してほしい。
160	学童保育に関しては各学校への設置、または複数設置を希望します。少子化といえども、共働き、片親等安心して預けられる環境を願う。公共施設だけでなく道路工事、通学路ガードレールなど、全体事業トータルで見直していただきたい。
161	道の駅を希望します。
162	駐車場の充実を願う。
163	地域活性化のために道の駅など誘致してほしい。JR行田駅前の観光案内所は単独の店舗ではなく、コンビニ等を併設していただきたい。学校も空きスペースが増えてくると思うので、校内に学習塾や学童保育室を入れてもらえると非常に助かる。
164	道の駅は何のために作るのか。第二の古代蓮タワーのような過疎地を作ることはないと思う。
165	プールの利用料金を上げて改装、改善をして欲しい。公共施設での禁煙を図って欲しい。特に市役所敷地内で願いたい。窓を開けると受動喫煙を強いられているくらい煙草くさい。
166	利用料金の基準は何か？グリーンアリーナの入札方法はおかしい。
167	古代蓮会館は公園と位置付けてあるが、公園そのものは利用する人達が多く見受けられる。しかし会館はタワーを見る料金を安くし、タワー入り口に料金所を置き市民に開放されたらどうか。
168	いろいろな年代の人が集まって楽しめるイベント広場があるといいと思う。

NO.	意見
169	老人同士が集まって語り合える場所があるといいと思う。
170	インフラの維持管理は、継続を期待。最近各地で空き家が目立ち、通行に支障があるケースが多くあり。このようなことも含めて、各地域の公園の造成を検討していただきたい。
171	やすらぎの里はよく利用させてもらっている。窓口の方の対応もよく、子どももおもちゃ図書館を良く利用している。卓球も出来るためグリーンアリーナより利用しやすく安いので助かる。税金の良い使用方法を望みます。私は行田市民で満足している。市役所の方の対応の改善を望む。
172	男女共同参画推進センターはそもそもいらないと思う。なぜ作ったのか。
173	グリーンアリーナをよく利用するが、売店があればよいと思う。
174	老人ホームや保育園を増設し、学童保育室の対象学年を上げる事が大切である。介護や育児が原因で働けないと、少子高齢化が進んでしまう。
175	子育て支援のため、保育園を充実してほしい。お年寄りが通院や買い物などで出かけるための車のサービスがあれば、安心だと思う。
176	歴史や古代蓮がある行田市であるのに、観光客がきても買い物をする場所がない。鎌倉や川越のように人々が楽しく遊べる場所が少ない。行田市全体の盛り上がりがない。市外の方で行田市のグリーンアリーナを使用し、設備が素晴らしいと言っていた。また行田市の図書館は専門的な本まであって、とても良いと思う。
177	忍地区の住民なので、コミュニティセンターや忍・行田公民館を利用している。コミュニティセンターは孫がよく利用しているが、遊び道具がワンパターンであるため、目新しいものがあると子ども達も喜ぶと思う。
178	公民館をよく利用するが、どこの公民館も同じようなものばかりであるので、公民館ごとに何かに特化した施設にしていきたいと思う。
179	高齢化に伴い、民間では運営費用や利用料金が低いスポーツ施設を、市で充実していく必要があると思う。体を動かすことは健康維持に繋がり医療費の削減になる。スポーツ環境を整備することが必要だと思う。
180	総合福祉会館へ行く場合12 kmあり遠いです。公共施設を計画する場合、耐震改修が優先ですが、地域住民で管理できる建築物にすべきである。また、子ども達に社会のルールや躰を教示するためにも、地域高齢者と子ども達で接することが出来る施設が大切だと思う。

NO.	意見
181	古代蓮会館の入場料大人400円は高い気がする。障害者は無料にすべき。
182	市民プールは行田市を中心にあり行きやすいので、無くなると困る。またプールだけでなく、同じ場所に運動場も移設してもらえると良いと思う。
183	公営住宅について、老朽化が激しいものや、現在の生活様式に合わないものは廃止し、空き家住宅の活用を検討すべきである。また少子化に伴い学校施設の集約を行い、通学手段の充実を行うなどして、児童生徒の負担にならない様に検討すべきである。
184	市民プールの隣にできた観光案内所ですが利用客が少ない。古代蓮のように野菜など売ったらどうか。
185	熊谷運動公園のような子どもが多く遊べる遊具がある大きな公園があると嬉しい。
186	学校や市の体育館の利用者が多くてなかなか取れないので、太井、持田、前谷方面に広場として使えるような施設がほしい。
187	市民プールの早期改築を願う。子どものスイミングスクールを充実させ、子どもの教育支援をして欲しい。
188	埼玉古墳公園と古代蓮の里とを直線で結ぶ道路の建設を望む。
189	忍城の存在感が増すように、駐車場を広くして道路からわかるように並木道を工夫して欲しい。
190	郊外に大型店舗や道の駅等を誘致し、街の活性化を図る。
191	多くの方々が利用しやすくなる総合的な施設、やすらぎの里（保育園、高齢者の施設も一緒に）の拡充の検討を願います。多額の費用になっても心身のよりどころになるのではないかとと思う。
192	公共施設とは外れますが、古代蓮の里や埼玉古墳公園の周辺に道の駅が出来ても入りにくい。あずまやがあっても汚いし、スロープがあって周囲が土のため、車いすで入りにくいなど問題がある。四季で寛げるガーデンテラスのあるお店があってもよいのではないかと。

NO.	意見
193	行田市より人口が少なく、税金が安いところはあると思うが、どうして財源が不足するのか。本当にムダ使いしていないのか。私たちの血税を大切に使って欲しい。いまは生活が苦しくても未来のために市の明るい発展を願う。
194	公共施設の利用料は値上げしないでほしい。道の駅を作ることは、熊谷の道の駅と離れていないのでやめて欲しい。国民健康保険税を下げたい。バスがなくなったので非常に不便である。
195	子育てや教育に力を入れていただきたい。
196	各施設の現状の利用率がわからないため回答に困った点があった。
197	維持管理費の削減はもちろん大事ではあるが、安全安心の担保も必要。
198	小、中学校に関しては、体育、道徳、理科、音楽、討論など集団教育に適しているものはそのまま続け、その他の科目（国語、算数、漢字読み書きなど訓練）については個人の進み方の程度に応じる形で、ネット通信教育で十分ではないかと思う。結果として登校数は減少し、教師に余裕時間が出来たら、より有効な教育、指導が可能となるのではないかと。また学校も今のような大規模なものではなく、地域公民館の一部に設けてもよいのではないかと。
199	公共施設の管理は民間に委託し、効率よく無駄を省く。天下り的なポストとしての管理職はやめてほしい。いきいき財団は公共施設の管理を独占していておかしい。
200	行田市は年寄りが多いので、老人の話を聞かなくては議員の票にならない。若者のことを考えないと未来は無いと思う。
201	まだ行田に引っ越してきて日が浅いが、子育て世帯にとって住みやすい町であることを期待する。
202	公共施設の見直しと同時に、市民が他市に移転されないような工夫してほしい。今、買い物も他市に行くような現状であり、ろくな店がない。もっと行田の人口を増加させる施策も行っていかないと難しいと思う。
203	民間との提携を考えていかなければならないが、利潤を追求しない公だからこそ出来ることもあると思う。人口の多い地域ばかり手厚く少ない地域が縮小されていけばますます過疎化は進んでいくと思う。観光資源の足袋蔵などの整備よりも今を生きるための施設が必要と考える。レトロなまちを目指すにしても、子育てしやすく老後が安心なまちを作るべきである。
204	問11では施設の今後について、施設の量（面積）をどうすべきということであるが、利用状況が分からないので、今後同様の意見を求めることがあれば、過去の利用状況を示す必要があると思う。

NO.	意見
205	市議会議員の報酬を減らせ
206	公共施設の受益者負担の増額を行い、管理運営費の公費部分を抑えてほしい。利用の少ない施設は今後の市の負担となるので、無駄な経費の見直し、維持管理の人件費に単価の安いお年寄りの活用などを行い、民間企業の手法を習い、行政を行って欲しい。
207	アンケートに関しては、回収率、年齢層、性別などを含めた結果を開示して欲しい。
208	小中学校等を同敷地内に統合する。公園やプール等は市の中心部に作り、その周辺に飲食店を設ける。市役所やその他の施設は、代替が可能であれば、使用されなくなった学校や企業の建物を使用する。道路で遊ぶ子どもが多いので、それらを誘致する施設の提供を望む。高齢者が多いのだから、一人ひとりが気軽に外出し、集うことの出来る施設を建設する。もっと自由に老人自身がイベントを催すことの出来る場所の提供を望む。若者のコミュニケーションの場、自由に音楽を演奏する場所や、飲食店の増設を望む。
209	今後の少子化や人口減少に伴い、施設等の需要の減少、財源の縮小はやむを得ない。しかしむやみに公共施設の廃止を行うと、人口減少にさらなる拍車がかかってしまう。近年行田市を舞台とした映画、小説、ドラマなどが登場してきているにも関わらず、その大きなチャンスを活かしてきていないのではないかと感じる。もっと効果的に観光施策などが出来れば、財源の創出や市の地域力の向上が図れるのではないかと感じる。市民ニーズに合わせた適切な公共施設の管理を行うと同時に、そうした前向きな取組も検討していただきたいと思う。
210	廃墟になっている店や家を壊して欲しい。秩父鉄道の駅をもっと開発して欲しい。直していかないとどんなに公共施設が出来ても何も変わらないと思う。もっと若者が集まるきれいな行田のまちにして欲しい。
211	公共施設に関して、行田市の郷土と関連した仕様とすべきだ。本来は住民に還元した方が好ましいが、視野を広げて観光客を取り込む工夫をした方がよい。忍城、さきたま古墳など魅力的な資源を活かすために、施設の役割だけでなく付加価値を盛り込むべきだ。市役所庁舎の再構築を含めて検討していただきたい。市内は公共交通網が乏しいので、保有量だけにこだわらず、利用率など統計的な視点も大切にして欲しい。人々の「場所」づくりが最終点となるように認識して欲しい。
212	多数決だけでは決めないでいただきたい。
213	利用者が少ない施設は駐車場が少ないなどの問題があると思う。子どもが少ないからといって保育園など減らすと少子化が進むと思う。
214	行田市には忍城や古墳などの観光資源が他市に比べて多いので、県外からの観光客を取り込めるような「観光の街行田」を作って欲しい。観光施策で歳入を増やすべき。
215	施設の利用頻度を年1回公表し前年度と比べてはどうか。チェック項目を明確にして欲しい。
216	公共施設の統廃合に関するアンケートより、どうしたら利用しやすくなるかのアンケートを行うべき。

NO.	意見
217	「公共施設に関するアンケート調査票」とあるが、行田市公共施設等総合管理計画概要版には「計画対象範囲、市有財産の物件に分類される公共施設及びインフラ資産とします」と書いてあるが、調査票にはインフラ資産についての記述がないのはなぜか。「公共施設の最適化」とは「延べ床面積の27%削減」を挙げているが、建物の個数の削減を対象としていないのはなぜか。行田市が保有するすべての公共施設について、現在までの利用状況、稼働状況を年齢、性別、個人・団体、使用目的、時間帯別の開示と、利用見込みを開示することが重要であり、それを踏まえた再度のアンケートの実施が必要と考える。
218	以前検診を行っていたように、決められた日時に各公民館でやっていただくと、気軽に行けると思う。太井からだと保健センターまで交通の便が悪いので、検診に行けない人が多いです。太井地区の人達は、車の運転が出来ないと市内の公共施設を利用できません。
219	受益者負担を高めていくことが必要と思慮する。
220	保健センターのがん検診の日数を増やしてほしい。荒木地区は50年近く全くインフラが変わっていません。
221	共働きでないと食べていけない若い夫婦が、子どもを預けて働きに出て行けるような環境にしないと、若者が市外に出て行ってしまふ。市が税金をあげたら、年金暮らしの老人ばかりが残るようになる。若者が住みやすい街になるよう望む。
222	少子高齢化といえど、高齢者の住みやすさだけでなく、若い世代にとっても住みやすい市にしてほしい。
223	公共施設の利用料金を徴収すべき。
224	近年、量が拡大し質の低下が見られる世の中、拡大や維持・縮小と平行して人材の育成（質の向上）を進めてほしい。安心・安全な施設であれば、多少の不便さがあっても利用するし、利用者が増えると思う。安心して利用できる施設を望む。
225	公民館のクラブ会員の方に、施設利用料として年1回維持管理費等を納めていただければ、修繕費用なども出るかと思う。
226	都会の人々が行田市に移住したくなるような、優遇措置などの政策をうち、財政力をアップさせるべきである。
227	公共施設の利用料金を無償化し、市民利用を促進させ、税金の無駄使いとにならないようなあり方であってほしい。市民が気軽に利用できる施設でなければ、公共施設としての役割を果たしていないので、利便性の良い施設であってほしい。
228	行田市は埼玉県他市に比べて魅力を感じない。公共施設がいまいちである。

NO.	意見
229	ハードよりソフトを充実していく必要があると思う。
230	公共施設の場所はなるべく近くになるように望む。また電子化により支所機能を持たせた場所（自動証明機等）を増やすと良い。また住民票、印鑑証明書などの発行をコンビニエンスストア等できると良い。
231	税金の使用を少なくする。
232	公共施設の維持管理の費用の一部に充てるため、各施設、公園、道路（〇〇通り）の名称を、民間企業に命名権として購入してもらうのはいかがか。企業としては宣伝となり、市としては収入が見込める。市職員が営業マンとして各企業廻りをする事。
233	鴻巣市と比べると施設及び運営の仕方に時代遅れの感がある。図書館も鴻巣市のほうが使いやすい。図書館だけでなく就労窓口が設けられていたり、子どもの遊び場もある。一方行田市は、公民館は高齢者のための施設になっている。空調も古くて埃っぽい。学校の環境は校舎内を見て愕然とした。錆びた靴箱の棚など重く薄暗い雰囲気である。児童生徒に及ぼす心理的影響を変えるためにも、出来る範囲内で校内環境に配慮して欲しい。
234	子育て支援を充実すべき。
235	子どもから老人まで気軽に行けて楽しめるような行事や催し物を考えていただけたらと思う。
236	県の機関が加須市や春日部市等に移転しているが、熊谷市内にある県の機関を利用できるよう管轄変更できないのだろうか。
237	施設の利用料金は値上げすること。利用者の負担はやむなし。
238	ゴミをスーパーの袋で出せるようにしてほしい。河川や水城公園が汚い。市報ぎょうだにお金がかかり過ぎている。JR行田駅行きバスを増やしてほしい。公共施設に活気がない。商工センターには人がいない。
239	地区間の格差は本当にひどい、要望を出しても反応は無くできない理由くらい示してほしい。
240	見識者の意見や他県のやり方を参考にする。

NO.	意見
241	子を産み育てやすい環境を作ってほしい。
242	栃木県にある「キッズピア足利」の室内遊び場によく行く。90分100円という格安で利用でき、社会福祉法人が運営しているようだが、足利市が「子育て支援」として補助金を交付されているようである。本市にも他の地域から人が集まる施設があってもよいと思う。維持管理費について、せせらぎ水路にかなりの額をかけて整備されていますが何のためかわかりません。グリーンアリーナの公園の草を年配の方が刈っていたが上っ面ばかりで、数日後業者が入って草刈りしていた。年配の方の作業はなんだったのだろうかと思った。行田の観光大使が「行田は何でも中途半端。まあそれがいいんだけど」と言っていた。中途半端なものを造るのではなく、「行田に行くと、こんな施設があるんだよ。」と言われるような施設があってもいいのではないか。
243	子育て世帯の支援を望む。
244	心配なのは、小針のゴミ処理場が鴻巣市に移転した後、施設をきちんと解体してくれるかどうかである。古代運の里もあり、景観を大事にしていきたい。また自治会の用事が多すぎる。働いている女性の方が多いのに、やっとの休日に自治会に出席することは家庭を犠牲にしている。無駄な行事を無くして欲しい。